



新註 青樓

通子遷

天保一

遠13  
464  
/

13  
464  
1



門 遠 13  
464  
卷 1



叙 古語こご曰いくく 花街はなまち 似に 旅りょ  
 とハハ宜よろ哉や 契情けいじやう乃の道中どうちゆう  
 阿あれれ門かどのの一里塚いちりづかありあり。  
 字あざ化世けせとと夢ゆめれれ五十三驛ごじゅうさんえき 歳とし  
 越こええ問屋場もんやば傳馬でんば松平まつだいらと



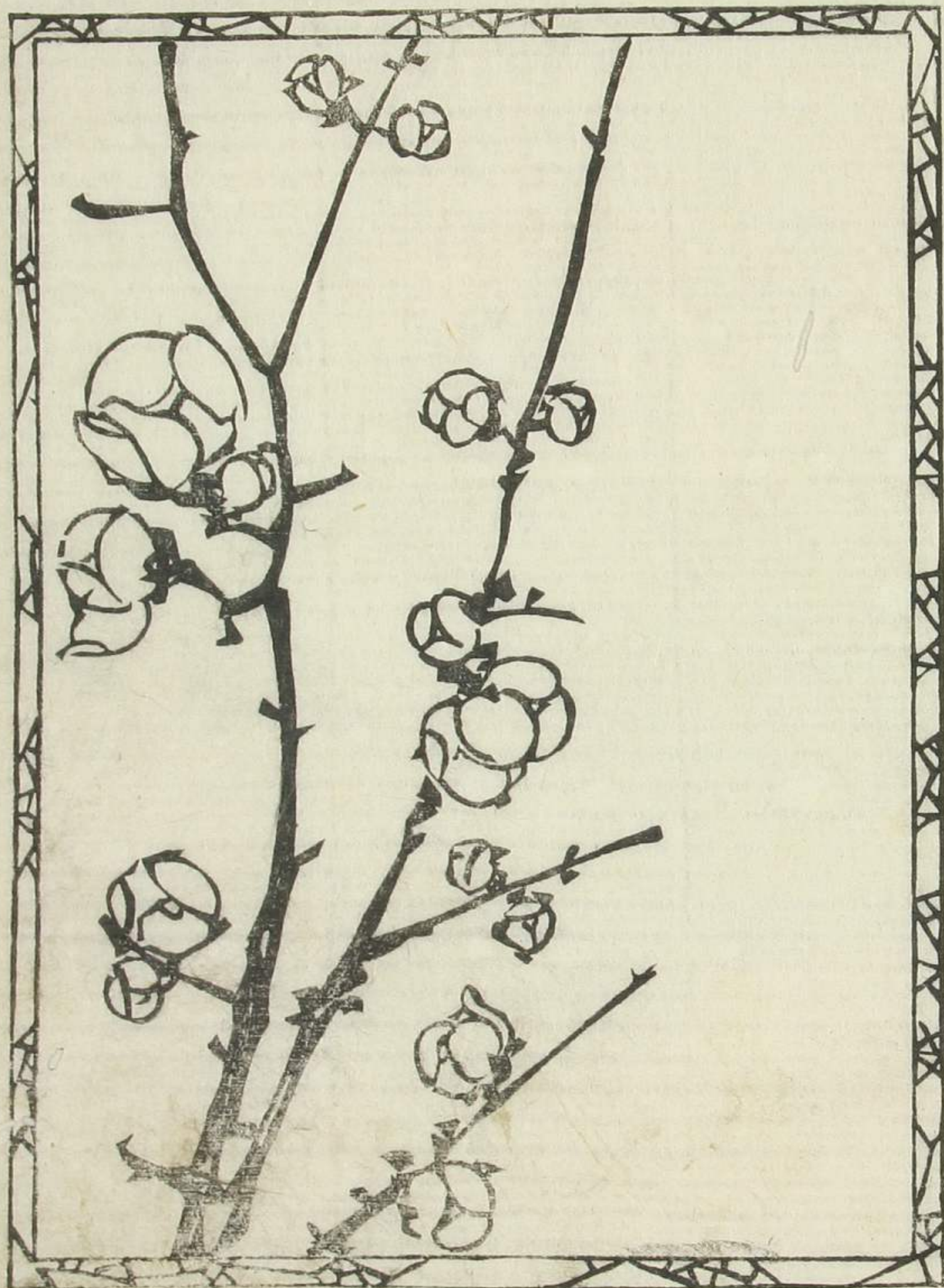
書尾州名古屋  
 林 長嶋町平目

帳場ちやうばも神棚かみだま驛路えきぢの鈴すずも  
 ぬるぬ袖そで新造しんぞう川くわ留とどせうせうん  
 肉にく澄あやうへへささするする。娼妓あしひらのの鳥田とりで  
 醫い決けつれれ雨あめ乃の大井川おおいがわ。月つき  
 日の戀こひ飛脚ひきやく跡あとへへとと戻もどるるぬ  
 衣えももんん坂人さかびと間まととのの五十軒いそげん

見みのの上かみ柳やなぎ乃の煙けりつつはは立たて  
 障さや行ゆく駒こまのの足あし柄がらおおるる立たて場ば  
 又また屋や止とむむ仲なつ乃の町年ちやうねん法はふ關かん  
 所ところ又また自みづか形かたちとといいふふ福ふくどど大だい門もんの  
 出で死し改かへるる女に人ひとのの切きるる揚屋あげやの  
 老らう子これれ年ねんのの段だんめめとといいふふら

浦ら屋ら子部屋荒井ふひと  
あらんま顔略用とらえ  
勢を地藏が不関まぐら乃  
早飛御ハ金銀のふぬ  
あうにさまに諸君れふら  
すぐこハ天人のゆま降れ三

保のまのふら富士額げみ  
傾城まよとるひみハ忽地  
迷ハの雲助と那と酒代を  
秘あり。意馬心猿乃手繩を  
いさるさる。多地まら胡摩乃  
繩のためよ。終身を謬と真



地<sup>ぢ</sup> 免<sup>めん</sup>よかろくかく<sup>のぶ</sup> 迷<sup>まよ</sup>れど<sup>のち</sup> 廓<sup>かく</sup>  
 控<sup>ひ</sup>のすきさめさむらう大将<sup>たいしょう</sup>

五卯亭

徳弁戯述

うしろ巻

新發

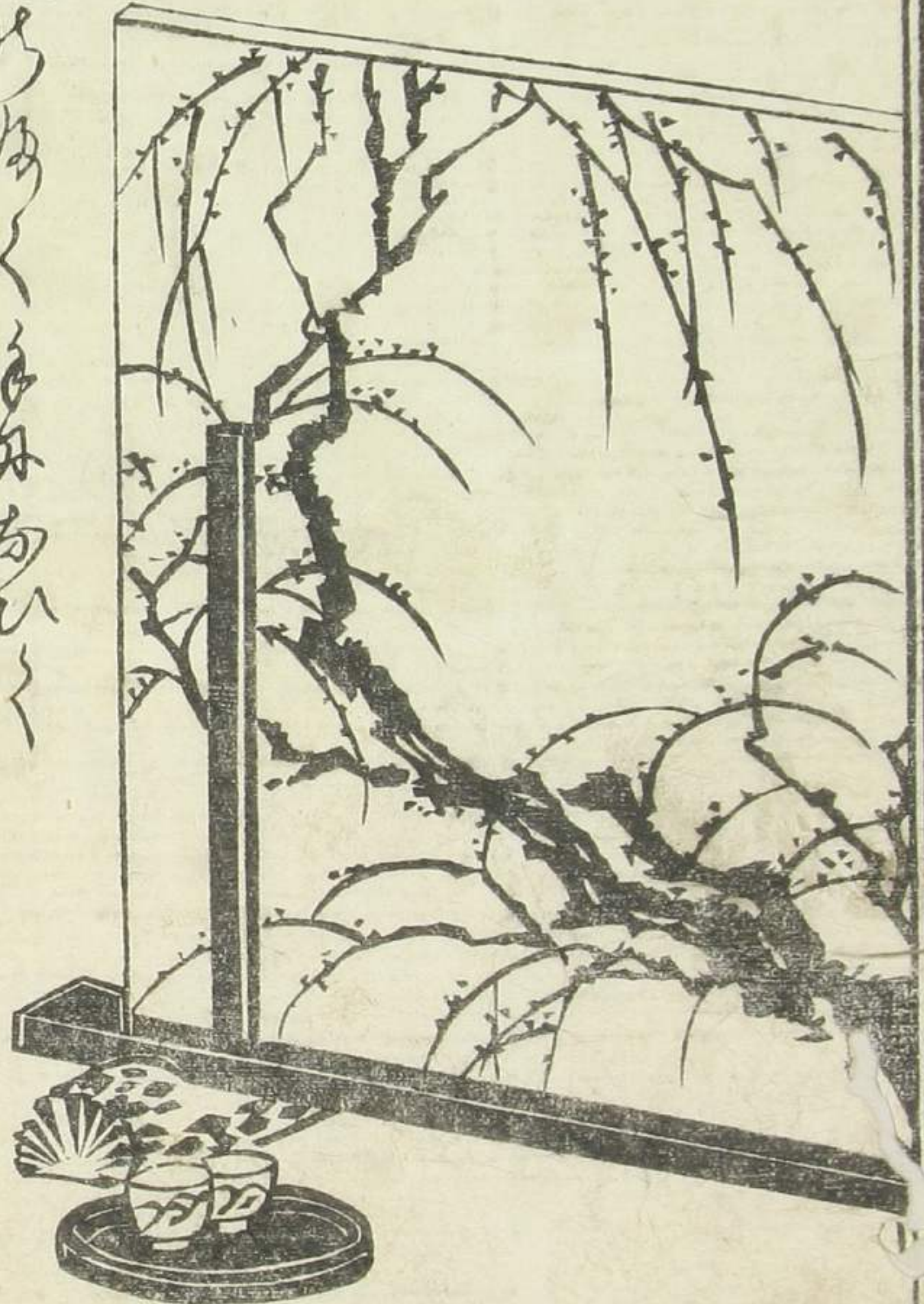




春風如ぬくもみあひく

あひく  
福うれ髪のをえぬ音柳

小粒舎  
三摺



清言  
通子遷卷之一

第一章

長閑あるころもまじらざおくる人々。  
じんじす山もうち煙る。柳のゆこの  
淡きどり。たるのみ一まのよそをひハ。  
画けどつきぬ花々の。薫りゆうーき  
さくくた。うらるるの末廣や。あざと  
んくく巴の客曲あり。年のころ三十



六七の通りもの。しきうつま。上りる。戸  
接のごまぐら。結下着。結のあ  
んけら。二ツうらえ。つま。結織ハ  
ぎんのらん。つま。まのみ。じりま。と好  
利え。うらのひも。帯ハ。ん。結。の。能  
織のふま。こ。うん。と。又。でも。すま  
の。ま。こ。う。ひま。一人。ハ。年の。以。廿。四。又  
名。ハ。年。次。郎。しきう。つま。上。り。る。度。後

しり。ぶ。ぎ。ぬ。の。う。ら。り。つ。ま。へ。つ。ま。の  
納戸。二。級。二。ツ。結。織。ハ。納。戸。つ。ま。の。級  
つま。しき。う。の。ま。ま。の。結。り。ま。と。つ。ま。と  
あ。こ。こ。う。ら。店。者。と。ん。人。う。ら。二。人。連  
ま。あ。と。び。と。こ。ん。と。ま。ま。を。つ。れ。ま。ま。く  
二。階。入。あ。が。り。花。ま。が。度。ま。へ。ま。つ。る。火  
む。ら。の。火。ま。ま。の。ま。ま。み。ら。ま。の。あ。る  
ま。の。う。ら。り。ま。の。し。け。む。ま。ま。ま。ま。ま。

ちんき 羽衣とゆつめうまうへて 風流つしき  
産しきのうち。 まや 酒肴とゆつめ  
び。 しん 産つまへうの 新 まや 花里「マヤ曲あえん  
えやぐお知ん ま へい。 ま みのまもあ  
らん う とぬーの ま ぼよしとらへん  
**曲水** ま おひうへうへまうへん ま ちやめあ  
ま 花里 ま 今 ま おまの ま の **曲** ま なる  
は ま 花里 ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち

まへ。 ま 花 ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
**曲** ま ぶ ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
ま ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
て ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
ま 起 ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
ま ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
ゆ ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち  
時 ま ち ま の ま 花 ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち ま ち









たり。氣<sup>き</sup>はあまのま〜くうすれと  
き〜く氣<sup>き</sup>がく〜くまのきり〜  
たりあま〜とサ<sup>サ</sup> 聖それども  
お医師<sup>いし</sup>きんが氣<sup>き</sup>がき〜くありま  
く〜く<sup>かく</sup>〜く。ものゆ〜く〜と  
のま〜く〜く〜く<sup>かく</sup>が<sup>かく</sup>  
よあま〜く〜くおの<sup>お</sup>〜く〜く  
よあま〜く〜くおの<sup>お</sup>〜く〜く

を<sup>を</sup>〜く〜くあま〜く〜く〜く  
き〜く〜く〜く〜く<sup>き</sup>〜く〜く  
〜く〜く〜く〜く〜く〜く有  
ま〜く〜く〜く〜く〜く<sup>ま</sup>〜く〜く  
〜く〜く〜く〜く〜く〜く。ナニの  
もの<sup>もの</sup>〜く〜く〜く〜く〜く<sup>もの</sup>  
だ〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く  
〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く<sup>痛</sup>〜く〜く

ありませんとしひるがう。庭とり  
 て庭ねまうー<sup>二</sup>曲三ひの六四はらわぬ。  
 ふぐヌわてらまひいものな。あやぐじと  
 りくおされちやうしやうしお入と家  
 おのへくまへお入が。平公六はまのま  
 うらまざりてんてんしんう。まぐお  
 まらづまがすんてら。ちとゆらうこと  
 ちやう 苑里 そまがうろうげひまのま色

ちやう 信ちやうさんやまハさんもま入  
 まうやう。ちとおやまきるんー 平次  
 まらまうとんとおのーらひまのま  
 うけひぬこりまー 苑里 マぬやう  
 せんむらぶがようむらうーやう。あひ  
 らんアノてまうくおひまーくして  
 居あまらーやうとまらへ。ぞつら花うら狂まえ  
 のえさんヌぬゆく 曲





サトウサトウのさつまいも。さつまいもを  
のこまに切ります。サトウのさつまいも  
を煮ます。煮た後、バターを加えます。  
バターを加えた後、砂糖を加えます。  
砂糖を加えた後、クリームを加えます。  
クリームを加えた後、卵を加えます。  
卵を加えた後、小麦粉を加えます。  
小麦粉を加えた後、塩を加えます。  
塩を加えた後、胡椒を加えます。  
胡椒を加えた後、醤油を加えます。  
醤油を加えた後、味噌を加えます。  
味噌を加えた後、酒を加えます。  
酒を加えた後、水を加えます。  
水を加えた後、火を加えます。  
火を加えた後、煮ます。  
煮た後、冷めます。  
冷めた後、食べます。

サトウサトウのさつまいも。さつまいもを  
のこまに切ります。サトウのさつまいも  
を煮ます。煮た後、バターを加えます。  
バターを加えた後、砂糖を加えます。  
砂糖を加えた後、クリームを加えます。  
クリームを加えた後、卵を加えます。  
卵を加えた後、小麦粉を加えます。  
小麦粉を加えた後、塩を加えます。  
塩を加えた後、胡椒を加えます。  
胡椒を加えた後、醤油を加えます。  
醤油を加えた後、味噌を加えます。  
味噌を加えた後、酒を加えます。  
酒を加えた後、水を加えます。  
水を加えた後、火を加えます。  
火を加えた後、煮ます。  
煮た後、冷めます。  
冷めた後、食べます。

りしよふ寝くことなり。寝るうら  
うらなり。いも。用ひまがふたつだ。  
寝くことなり。いしりーません  
[寝衣] 寝衣しやうことけいようね  
氣體もいんぼ。あこかうそよも  
そふりりそむんすことうれう  
ざらまは。いんぼをうてありんし  
も。いんぼが合ときりやう。しん

あつことなり。いしりーんせんうら。ぬ  
もその氣ぐおのぞんしー [平] こと  
あやうその氣でも。とよざうらまひ  
あやうの方ふやうことなり。がらサ [寝衣]  
マヤまのいしりー。さむりりまぐら。事  
屋のうらこやう。そんる浮氣もの  
ハ一人もありんせんうら。まがく来  
ておんせんしー [平] ことしーがあらハ

ゆくまゝでさ。あつが年もらつね人青  
二戈どことあつらへくをどとせうくせく  
そんるさるる舞にるるせ 花衣 その  
まゝるる氣づるひあるんする。コウるる  
うへぬしのぶらぶらハコウの  
ぶらぶらである。とコウ ハコウ 初會  
うらるるししくハコウん志しから。  
あつましぬ後のねんものごとと思ひ

るんしやうが。つらるるる後まじら  
まんす。うんまんとあらんるんし  
平 そまハあひぐさ。こうらもぎんし  
こころ。たごめくあつらへくやう思ひ  
ません。あつらへくうらあけく。い  
うらるるぐくつまハあつらへんる 花衣  
マるせそんるあぬしやうぶらさる  
あつらへく。 ハコウ 花衣 ハコウ 花衣

しまのいんしんいん。まのいん  
ざんすうら。うらうらばむげすま  
する人。いんうらぬ。ゆあううせう  
まのいんまのいんせんが。まのいん  
まのいんまのいんいん。いん  
あまのいんまのいんいん。いん  
うらうら可也。いんいん。いん  
うらうら。いんいん。いん  
いんいん。いんいん。いん  
いんいん。いんいん。いん

だのいんいん。いんいん。いん  
あまのいん。いんいん。いん  
女房よする。いんいん。いん  
いんいん。いんいん。いん  
だ。いんいん。いんいん。いん  
平あまのいん。いんいん。いん  
うらうら。いんいん。いん  
あまのいん。いんいん。いん

めんまうひますまじら。どろろ 他者きやくに  
うきこゆうご 夜 そのちゆうごんが  
らうごんす。どろろとらんまきま  
るりんしんらんぬしを一ト目めるを  
ちんぐくろおくるりんしんじじ  
かつちゆう悪あく多んでめりまきうトひ  
なぐら平へい及那ながまぐら下の下へしたへまき  
あらとどろろしゆあらとりあが平へい及那

が顔かほよま髪かみをのて。アるんじじ  
ねトひ折おくく秀しゆ ま まま衣い  
まんのらんが。客きやく人にんはは居いをを上うへ  
るまのままとサ 平 あうここけ。おの  
らんよよちちくくかせんん 夜  
ままままんんすするる。ああれれろろととののひ。  
ああひひとと夜よ妻づまととららんん一い言ごんを  
ああららとと渡わた膠こうのの契せきのの舞まいいのの舞まい

かり。連理の枝ひさくの多きも。こま  
 るゆ。是くば。つゝあふ。き身。を七を  
 共。實。一。娼客のこころるべし。  
 是。二の巻。創。世。界。

通子遷卷之一終

